

○ 環境調査結果（令和元年度）

（１）（株）H I R A Y A M A 実施分

調 査 項 目			実施頻度	結 果 概 要
岡田山の廃棄物 （掘削時）	27 項目 （水銀，カドミウム等）		1,000 m ³ ごとに 1 回（計 49 回）	土壌溶出量，含有量とも基準値以下
改良土 （リサイクル製品）	27 項目 （水銀，カドミウム等）		800 m ³ ごとに 1 回（計 92 回）	〃
大気質等	粉じん		年 4 回	撤去開始前後で変化なし※
	アスベスト		年 4 回	〃
	硫化水素・メタン		年 4 回	検出なし
騒音・振動			年 4 回	撤去開始前後で変化なし※
水質	地下水	28 項目 （水銀，カドミウム等）	年 4 回	環境基準値以下
	場内排水	28 項目 （水銀，カドミウム等）	年 4 回	基準値以下
	浸出水	28 項目 （水銀，カドミウム等）	年 4 回	環境基準値以下
底質 （事業場出入口付近）	ダイオキシン類		年 1 回	〃

※ 基準等の設定はないため，測定値の年間の推移を確認している。

(2) 本市実施分

調 査 項 目			実施頻度	結 果 概 要
岡田山の廃棄物 (掘削時)		26 項目	月 1 回	令和元年 11 月の調査で「フッ素及びその化合物」の溶出量が基準値を超過※ ¹ (0.94mg/1【基準値 0.8mg/1 以下】) その他の土壌溶出量, 含有量は基準値以下
		ダイオキシン類	2 箇月に 1 回	環境基準値以下
土 壌 (リサイクル製品搬出時の検査)		26 項目 (水銀, カドミウム等)	年 2 回	土壌溶出量, 含有量とも基準値以下
土 壌 (汚染洗浄後の検査)		26 項目 (水銀, カドミウム等)	—	汚染土壌の受入がなかったため測定不可
大気質等		一般大気, 3 項目 (二酸化窒素等)	常時	環境基準値, 京都市環境保全基準値とも基準値以下
		有害大気, 13 項目 (水銀, ベンゼン等)	年 1 回	環境基準値, 京都市環境保全基準値とも基準値以下 (環境省が環境指針を設定している項目については, 全て同指針値以下)
		粉じん (降下ばいじん)	年 4 回	京都市環境保全基準値以下
		アスベスト	年 1 回	撤去事業開始前と同程度の測定値 (基準等の設定はない。)
		硫化水素	年 1 回	規制基準値以下
		メタン	年 1 回	撤去事業開始前と同程度の測定値 (基準等の設定はない。)
騒音・振動			年 1 回	〃
水 質	地下水	28 項目 (水銀, カドミウム等)	年 2 回	環境基準値, 京都市環境保全基準値とも基準値以下
	河川水	34 項目 (水銀, カドミウム等)	年 2 回 (3 地点) 年 6 回 (1 地点※ ²)	〃
	底 質	7 項目 (水銀, カドミウム等)	年 1 回	暫定除去基準値以下
ダイオキシン類		大 気	年 4 回	環境基準値, 京都市環境保全基準値とも基準値以下
		地 下 水	年 1 回	〃
		河川水・底質	年 1 回	〃
		周 辺 土 壌	年 1 回	〃

※1 「フッ素及びその化合物」が検出された廃棄物については, 事業場内の処理施設にて除去処理し,
処理後物については, 有害物質がすべて基準値以下であり, 安全に使用できるものであることを確認
している。

※2 常時監視地点であるため年 6 回調査を実施している。